

な～に谷っ戸ん田 3年目の12回目

田んぼの草取り・周り刈り／ねぎの植替え・周辺草刈り

と き：平成21年8月1日(土) 9:30～17:00

ところ：田んぼ(谷っ戸ん田) ハウス裏のねぎ畑、谷っ戸ん田入口の畑

天 候：晴れ

参加者：石田、松本夫妻(午前) 田中(午前) 松尾(午前) 高田(妻) 高橋、加藤、久保、坂本、テツさん
(園主) 柴田(午後の休憩まで) 計12人

活動内容

【午前】

田んぼの草取り(谷っ戸ん田)

田んぼには水が入っておらず、土用干しの状態。稲は50センチくらいの高さまで生長し、一部には穂が確認されている。(穂孕みも見られる)草取り後、田んぼに再び水を入れている(花かけ水)。稲をかき分けての作業は想像以上に大変な作業であると実感。稲の葉が顔や腕に当たると独特の痛痒さがあった。草は、コナギとオモダカが中心、だがヒエも……。取りきれしていない。

稲の色にはバラつきがあり、濃い緑色と黄緑色の場所があった。肥料の撒き方や量などに原因があったのかもしれないと、園主からの話。本来は、もう少し稲が全体的に黄色い状態なはず。対策としては、もう少しだけ肥料を加えるなどの方法が挙げられる。午後の最後に化成肥料を5kgまく。(ただ、肥料は葉のためでなく実のための穂肥えと思われるが……)

田んぼの周り刈りもおこなった。刈り払い機とスパイダーモア(グリーンの新兵器。ネット検索でメーカーの動画も見られるよん)

お昼

ハンモックランチがお休みのため、石田さんが近くの(おばちゃんの手作りの)ほか弁まで買い出しに行っておきました。坂本さんは、キャンプの時に用いられる小さなガスを用意し、カップラーメンで食事。

昼食後はハンモックではなく、ドカンモック(土管の上で休憩)で休むなど、いつもと異なり、不思議と静寂ある谷っ戸ん田の昼休みでした。

【午後】

ネギの植替え

ハウス裏のネギ畑のネギが雑草に覆われていたので、そのネギを一度抜き、谷っ戸ん田入口前の畑へと植替え。雑草が生い茂り、ネギを草の上から覗きながら作業。ネギは強いものなので、ネギの生長点さえ生きていれば植替えは可能。抜いたネギは、軽トラで植替え場所へ。(テツさんが管理機で掘った)ネギ植替え用の深い溝のところに、1か所に2、3本ずつネギを立てるようにして植える。根の部分に土を被せる。次への間隔(株間)は10センチから15センチくらい空ける。そして、溝に瀬谷から運んだ麦藁を敷き、畑全体に除草剤をまく。

ネギ畑の周辺を草刈りしていたら、去年のコンニャク畑で草のなかか、ニョキっと伸びたコンニャクを発見。今年植えたものよりいいかも……。

その他

テツさんから浜なしの差し入れを頂きました。おいしいと評判の(テツさんの同級生で、加藤先生の教え子の、鉄町の)村田園さんの浜なし(品種は、あけみず)です。8月最初でまだ走りのもので、テツさんはいい感じの感想でしたが、私個人としては十分においしいものでした。横浜に来て、待望の浜なしを食べることができて嬉しい限り。高田(妻)さん、高橋さん、加藤さんが交代で普段の包丁さばきを披露してくれました。皮をむく人によって、おいしさは違うのかな…。

次回

平成21年8月8日(土)午前9:30～

(記録：柴田高治、補足：石田周一)